

藤田医科大学保健衛生学部

# 社会実装看護創成研究センター 2021 年報

Research center for implementation nursing science initiative  
Annual report 2021. April 1 – December 31



FUJITA HEALTH UNIVERSITY

# 社会実装看護創成研究センター 2021 年報

## Research center for implementation nursing science initiative Annual report 2021. April 1 – December 31

### 1. メンバー

センター長 教授 須釜 淳子

専任教員 准教授 臺 美佐子、講師 小柳 礼恵、光田 益士

研究員 劉 雨

(名古屋大学大学院保健学専攻博士前期課程 研究委託 2021年10月1日～)

アドバイザー 真田弘美教授

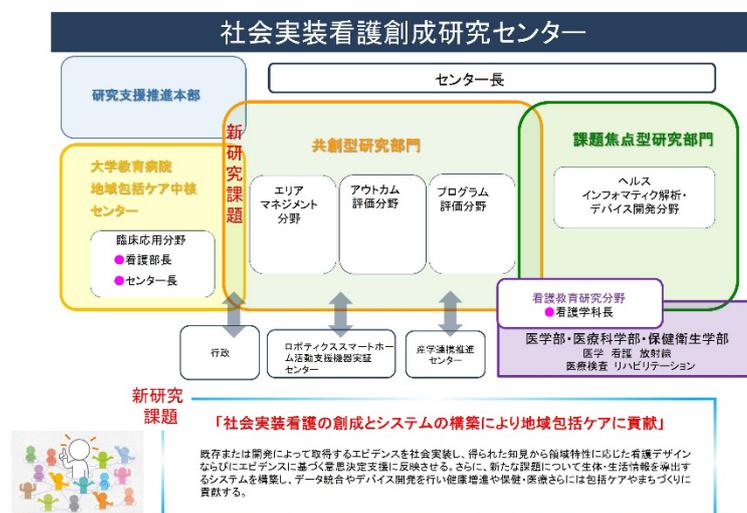
(東京大学大学院医学系研究科グローバルナースングリサーチセンター)

### 2. センター概要と組織図

4月1日より藤田医科大学保健衛生学部に「社会実装看護創成研究センター」が新設された。

臨床現場の技術革新が進む中、看護領域においてもロボットや Information and Communication Technology (ICT)、Artificial Intelligence (AI) などのテクノロジーの有効活用が求められている。一方で、医工連携と異なり、看工連携の社会実装に関する理論および方法論は、未だ確立されていないのが現状である。本センターでは、大学病院や地域包括ケア中核センターと協力し、看護実践の場でこれらの研究を推進するとともに、次世代を担う人材の育成にも取り組む。

体制は、臨床のニーズや課題の抽出、データベース化および実装研究を行う共創型研究部門と、同部門が抽出した課題に対し看護理工学からアプローチする課題焦点型研究部門の2部門である(図1)。生体・生活情報を導出するシステム構築やデバイス開発を通じて、健康増進や保健・医療、さらには地域包括ケアやまちづくりに寄与することをめざす。



### 3. 2021年の活動，進展状況

2021年は社会実装看護創成研究センターの研究基盤整備を行った。ハード面では、9号館5階に基礎実験室、ミーティングルームの設備・備品を準備した（図2）。ソフト面では、毎週火曜日午後に研究ミーティングを開催し、センター専任教員が主導する研究の進捗、論文抄読、学術雑誌の最新情報の共有、実装科学の基礎学習を行った。

教育病院との連携を深めるため、4月から毎月1回、第1教育病院看護部（眞野恵好看護部長、他）にて、第2～4病院看護部（相原晶子看護部長、松嶋文子部長、小島菜保子看護部長、他）ともオンラインで接続し、臨床研究に関する打ち合わせを行った（写真1）。

#### 実験室とミーティングルーム

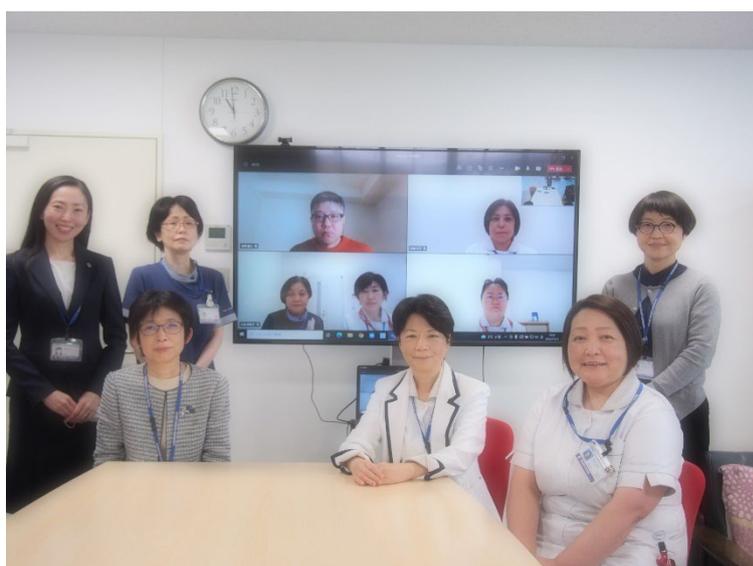


写真1 看護部との定例ミーティング

臨床と研究との接点を見つけるため「Meet the Expert Nurse in Fujita」と冠したセミナーをセンターで開催し、各教育病院認定看護師から活動内容の発表と討論を行った（表 1）。現在、認定看護師を中心メンバーとする臨床共同研究チームが結成され、活動している（表 2、写真 2-5）。さらに看護部職員の研究に関するニーズオンライン調査を 5 月 17～31 日（1733 名回答）に実施し、その後、看護職員とセンター教員のシーズとのマッチングを 9 月 24 日と 11 月 2 日に行い、新規共同研究計画を作成し、医学倫理審査委員会に提出した（表 2）。

表 1 Meet the Expert Nurse in Fujita

開催月日	発表者（認定資格）	所属
5 月 21 日	三鬼達人（摂食・嚥下障害看護）	第 1
6 月 22 日	河合佑亮、村松恵多、神戸美樹（集中ケア） 水野友紀（手術看護） 鈴木朝子（救急看護）	第 1
8 月 3 日	河村愛（乳がん看護） 野田早智恵、秋吉麻紀、神納美保（がん化学療法）	第 1
8 月 23 日	水谷洋（がん放射線看護） 近藤千恵、宇野みゆき（緩和ケア）	第 1
8 月 25 日	鈴木祐子（がん性疼痛看護） 神納美保（がん看護外来）	第 1
9 月 21 日	芝崎奈美枝、吉田昭絵、伊藤千穂（慢性心不全看護） 伊藤あゆみ（透析看護） 上村昂斉（糖尿病看護）	第 1
10 月 18 日	西山貴子（感染管理） 竹腰加奈子（摂食・嚥下障害看護）	第 3
10 月 25 日	鈴木華代（皮膚・排泄ケア） 西寄政二（クリティカルケア）	第 2
11 月 1 日	宮坂久美子（がん化学療法看護）	第 2
12 月 1 日	林和弥、櫻木千恵子、西川圭二（脳卒中リハビリテーション看護） 三田村京子、齋木由佳（認知症看護）	第 1



写真2 摂食嚥下障害ケアチーム



写真3 IAD チーム



写真4 がん看護チーム



写真5 感染管理研究チーム

表2 2021年度センター医学倫理審査申請状況

タイトル	PI	共同研究者
脳卒中患者における失禁関連皮膚炎（IAD）の有病率および IAD 発生リスク因子の推定：横断調査*	光田	小柳礼恵、西川圭二、稲垣喜信、眞野恵好、須釜淳子
当院看護部の摂食・嚥下障害担当者会に関する診療実態と予後の検討*	光田	山崎美代、三鬼達人、田村茂、生駒俊裕、石谷朋紀、石山友貴、須釜淳子、眞野恵好
Medical Care STATION+床ずれ予防アプリ機能の使用がケアマネージャーの褥瘡予防の知識および実践に与える影響：前後比較研究	光田	須釜淳子、小柳礼恵
ベッド上での嚥下のしやすさに対するヘッドレスト付電動ベッドと従来型電動ベッドの比較：横断研究*	光田	石谷朋紀、三鬼達人、田村茂、山崎美代、生駒俊裕、石山友貴、小柳礼恵、須釜淳子、眞野恵好
二分脊椎患児の褥瘡予防の支援状況に関するインタビュー調査*	小柳	鈴木達也、佐々木ひとみ、安井稔博、上甲眞宏
カテーテル心筋焼灼術の皮膚障害の実態と発生要因：前向きコホート研究*	須釜	相原晶子、川崎美瑞良、杉浦貴子、坂本ひとみ、樋口美恵子、鈴木華代、佐野克明
小児リンパ浮腫患者の QOL 評価尺度の妥当性・信頼性の検証と実態調査	臺	須釜淳子、小柳礼恵、田崎あゆみ
脳卒中患者の陰部洗浄法に関する単施設ランダム化非盲検クロスオーバー試験*	光田	西山貴子、井田美和子、古谷一真、西川圭二、塩地由美香、須釜淳子、松嶋文子
急性期病院における1日に必要な“看護師の人数・看護師情報”予測スケールの開発*	小柳	眞野恵好、高井亜希、佐野友香
前立腺癌に対する放射線治療期間中のガス貯留の実態と関連要因の探索：レトロスペクティブスタディ*	臺	須釜淳子、眞野恵好、水谷洋、神納美保、林真也、齊藤泰紀、西田洋、角矢智恵、高井亜希

PI: principal investigator 、 \* : 藤田医科大学看護部との共同研究

表 2 (continued)

タイトル	PI	共同研究者
がん治療に対する専門・多職種連携による コミュニティサロンの参加者特徴と満足 度：レトロスペクティブスタディ*	臺	須釜淳子、神納美保、河 田健司、高井亜希、山村 真巳、秋吉麻紀、伊藤明 美、山田 成樹、豊里星来、 伊藤佳織、眞野恵好、松 田日出三、辻井奈保、全 並美穂、安藤洋介、片方 容子

PI: principal investigator 、 \* : 藤田医科大学看護部との共同研究

看護学科とは、看護学科長（三吉友美子教授）と連携し、参加を希望する教員らと、7月から毎月1回英語論文抄読会を開催した（写真6、7）。また、リハビリテーション学科との共同研究（体圧分散マットレス・須釜、リンパ浮腫管理・臺）も開始した。



写真6 抄読会風景



写真7 英語論文抄読会参加者

## 4. 基幹研究報告

### 1) 共創型研究部門

#### (1) リンパ浮腫管理を成功させるために必要な“蜂窩織炎再発予防”

研究代表者：臺 美佐子

リンパ浮腫管理を成功させるために必要な“蜂窩織炎再発予防”の一步として、エコーによる真皮性状のエコー所見を抽出した。下肢リンパ浮腫患者のうち、蜂窩織炎既往歴のある者の下腿真皮に低エコー所見が観察できる割合が、蜂窩織炎のない者に比べて高かった。これは、真皮への組織間液貯留が考えられ、急性炎症の修了後にも炎症所見が残存している可能性を示唆している。蜂窩織炎再発指標として有用であるか現在プロスペクティブにデータ収集中である。また、実装に向けて、ワイヤレスエコーによる真皮低エコー所見描出の信頼性と妥当性を検証中である。

#### 新規の知見：真皮低エコー所見と蜂窩織炎既往との関連性

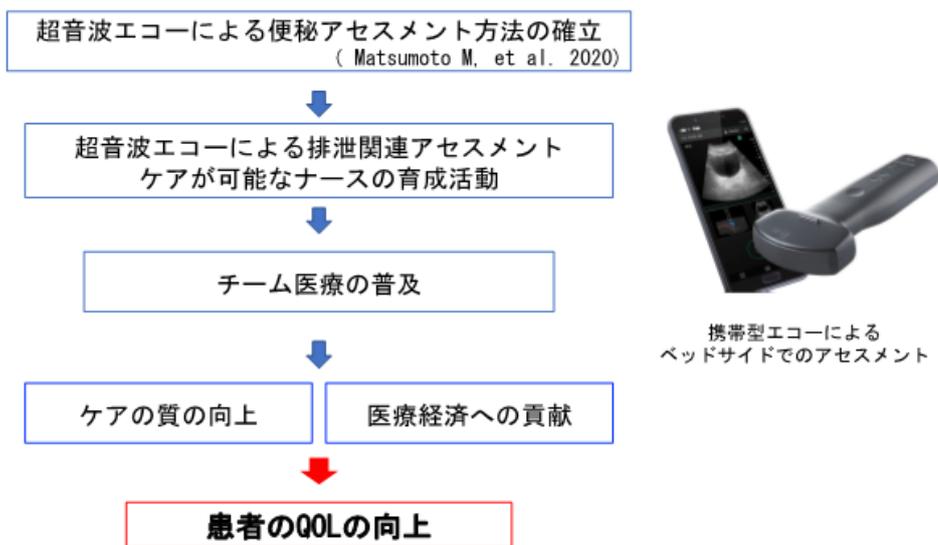


#### (2) 超音波エコーを用いた排泄ケアの取り組み

研究代表者：小柳礼恵

排泄に関するケアの向上には「排尿自立支援加算」「IADのベストプラクティス」により対策が取られている。しかし、便秘は高齢者の有病率が高く死亡リスクも高いとされているが未だエビデンスがある対策が普及していない。

2025年問題も注目される中、超高齢社会となる本邦では病院、在宅が包括的にチーム医療として便秘対策に取り組み、アセスメントとケア方法のエビデンス構築と実装研究を進める必要がある。当センターは、関連学会とも連携し医療の質向上、医療経済への貢献を計画している。



## 2) 課題焦点型研究部門

看護学と理工学との融合型研究を通じて、看護技術の定量化・可視化・効率化、および未来に向けた新たな看護の価値創造への貢献を目指す。2021年度は藤田医科大学第1教育病院看護部との共同研究、産学連携による企業との研究、および外部研究者を交えた連携研究を多数開始した。以下、2つの基幹研究を報告する。

研究代表者：光田益士

(1) バイオセーフティレベル2の実験室を立ち上げ、皮膚アセスメント技術と皮膚細菌・真菌の分離同定技術を融合した、脳卒中患者における失禁関連皮膚炎の発生リスク因子の推定に関する研究を開始した(図1)。本研究は入院患者の生活の質向上や失禁関連皮膚炎のアドバンストスキンケア介入手段の開発だけでなく、看護視点での新たな院内感染対策への展開可能性を有する。

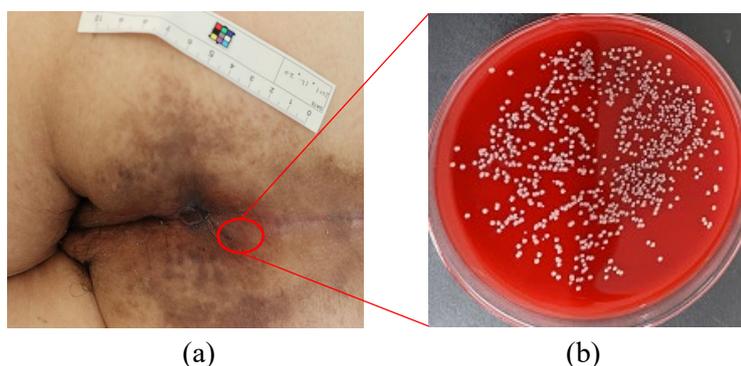


図1 症例

- (a) 失禁関連皮膚炎を有する患者の臀部の外観写真
- (b) 失禁関連皮膚炎の発生部位から分離された黄色ブドウ球菌

(2)在宅療養者を中心とした地域における医療・介護の連携推進を目指す一環で、在宅での褥瘡予防に利用可能なリスクアセスメントスケールを開発し、アウトカム向上のための戦略を構想した。そのリスクアセスメントスケールの有用性を明らかにするため、複数地域での多施設共同研究を行った。高齢者のケアが病院から地域へシフトする中、本研究は科学的介護と地域包括ケアシステムの実現に向けたモデル事業への展開を目指す。

## 5. 外部資金獲得

### 科研費（代表：金額は2021年度分）

「基盤研究(B)」,「アドバンストスキンケア開発を目指した創閉鎖後の脆弱な皮膚環境と褥瘡再発との関連」,須釜淳子代表,2020-2022年度,7,490千円.

「挑戦的萌芽」,「多分野融合グローバル型アプローチによる後期高齢慢性浮腫管理」,須釜淳子代表,2018-2021年度,910千円

「基盤研究(C)」,「リンパ浮腫患者の蜂窩織炎発症・再発要因探索とリスクアセスメントスケール開発」,臺美佐子代表,2018-2023,520千円

「研究活動スタート支援」,「尿失禁を有する脳卒中入院患者の失禁関連皮膚炎と細菌バイオフィーム形成との関連性」,光田益士代表,2021-2022年度,1,300千円

### その他の競争的資金

「愛知県がん研究振興会研究助成」,「婦人科がん患者の口腔内環境と下肢リンパ浮腫悪化要因との関連性」,臺美佐子,250千円

「日本褥瘡学会研究助成」,「二分脊髄患児の成長発達段階における褥瘡発生要因の検討」,小柳礼恵,500千円

### 受託研究・奨学寄付金

受託研究,アルケア株式会社,光田益士,500千円

奨学寄付金,アルケア株式会社,光田益士,4,000千円

奨学寄付金,シーホネンス株式会社,光田益士,8,500千円

## 6. 2022年計画

2021年は実装研究において、Phase 1 (Initial Considerations Regarding the Host Setting), Phase 2 (Creating and Structure for Implementation) の段階であった。2022年は、Phase 3 (Ongoing Structure Once Implementation Begins) に移行する。具体的には以下の研究プロジェクトをセンターの基幹研究として行う。

### 1) 第6のフィジカルアセスメントツールとしてのエコー可視化技術の普及

先行研究で既に明らかとなっている「エコーを用いた看護師による排泄ケア」「エコーを用いた看護師による摂食・嚥下障害の可視化技術」「エコーを用いる点滴トラブル予防を目指した末梢静脈カテーテル留置技術」の普及に向けた研究を行う。藤田医科大学教育病院の看護部と共に研究を計画・実施する。

## 2) 褥瘡予防における Health Equity

医療・介護連携推進モデルとしての事業化を目指して、在宅での褥瘡予防・重症化予防を目指したヘルスケアサービス社会実装研究プロジェクトを企画する。2022年度は、リソース（ヒト・モノ・カネ）を含む、具体的な研究実施のための体制整備と計画立案を行う。藤田医科大学地域包括ケアセンターと連携し、豊明地域での先行的な予備調査を計画する。

## 3) 脆弱皮膚へのアドバンストスキンケアの開発・普及

失禁関連皮膚炎（IAD）、リンパ浮腫

### （1）失禁関連皮膚炎（IAD）

2021年度に引き続き、脳卒中患者における失禁関連皮膚炎の発生リスク因子の推定に関する研究を行う。藤田医科大学第1教育病院で行っている本研究を第3教育病院に展開し、新たな知見獲得を計画する。

### （2）リンパ浮腫

蜂窩織炎の発症予防を目指し症例収集を重ね、さらにチーム医療の体制ならびにアウカム評価指標の構築をリハビリテーション部門と共に行う。

## 4) 共同研究の遂行（表2掲載）

## 7. 研究業績

### < 発表論文 >

- Dai M, Nakagami G, Sato A, Koyanagi H, Kohta M, Moffatt C, Murray S, Franks PJ, Sanada H, Sugama J. Association Between Access to Specialists and History of Cellulitis Among Patients with Lymphedema: Secondary Analysis Using the National LIMPRINT Database. *Lymphatic Research and Biology*. 19 (5), 442-446. 2021. doi: 10.1089/lrb.2021.0056.
- Dai M 7, Minemasu T, Ogawa Y, Nakagami G, Sanada H. Association of dermal hypoechogenicity and a history of cellulitis in lower extremity lymphedema patients: A cross-sectional observational study. *Lymphatic Research and Biology*. Online ahead of print, 2021. doi: 10.1089/lrb.2021.0004.
- Qin Q, Oe M, Ohashi Y, Shimojima Y, Imafuku M, Dai M, Nakagami G, Yamauchi T, Yeo S, Sanada H. Factors associated with the local increase of skin temperature, 'hotspot,' of callus in diabetic foot: A cross-sectional study. *Journal of Diabetes Science and Technology*. Online ahead of print, 2021. doi: 10.1177/19322968211011181.
- Miura Y, Tamai N, Kitamura A, Yoshida M, Takahashi T, Mugita Y, Tobita I, Arita M, Urai T, Dai M, Noguchi H, Matsumoto M, Mukai K, Nakagami G, Ota E, Sugama J, Sanada H. Diagnostic accuracy of ultrasound examination in detecting aspiration and pharyngeal residue in patients with dysphagia: A systematic review and meta-analysis. *Japan Journal of Nursing Science*. 18. 2021.
- Minematsu T, Dai M, Tamai N, Nakagami G, Urai T, Nakai A, Nitta S, Kataoka Y, Kuang W, Kunimitsu M, Tsukatani T, Oyama H, Yoshikawa T, Takada C, Kuwata M, Sanada H. Risk scoring tool for forearm skin tears in Japanese older adults: A prospective cohort study. *Journal of Tissue Viability*. 30 (2), 155-160. 2021.
- Tsukatani T, Minematsu T, Dai M, Tamai N, Nakagami G, Sugama J, Takada C, Sanada H. Polymorphism analysis of candidate risk genes for pressure injuries in older Japanese patients: A cross-sectional study at a long-term care hospital. *Wound Repair Regen*. 29 (5), 742-751. 2021. doi: 10.1111/wrr.12912.
- Dai M, Minematsu T, Ogawa Y, Takanishi Y, Sugama J, Sanada H. Subjective thermal sensation effect of cool feeling compression stocking for patients with lower limb Lymphedema: A preliminary pre-post study. *Journal of Japanese Society of Wound, Ostomy and Continence Management*. 25 (1), 10-17. 2021. doi: 10.32201/jpnwocm.25.1\_10.
- Suzuki Y, Nakajima Y, Nakatani T, Okuwa M, Sugama J (2021) Comparison of normal hindlimb lymphatic systems in rats with derourrs present after lymphatic flow blockage. *PLoS ONE* 16(12): e0260404. Corresponding author
- 横野知江、須釜淳子、真田弘美 (2021) 新潟県の訪問看護師が抱える在宅褥瘡管理での困難および皮膚・排泄ケア認定看護師への期待・希望に関する調査. *褥瘡会誌* 23(1): 39-45.
- Kinoshita S, Ishikawa R, Seishima M, Kinya C, Matsui Y, Okuwa O, Sanada H, Sugama J (2021) Morphological characteristics of pressure ulcers due to elastic compression stockings

- and factors associated with their occurrence. Journal of Japanese Society Wound, Ostomy, and Continence management. 25(3): 611-621. 2021
- Imran, Ogai K, Saad SS, Haryanto, Oe M, Nakagami G, Suriadi, Nakatani T, Okuwa M, Sanada H, Sugama J (2021) Date and honey mixture compared with honey alone for diabetic foot ulcer healing. Journal of Japanese Society Wound, Ostomy, and Continence management. 25(3): 597-610. 2021
- Mukai K, Ogai K, Ishino S, Kamiyo S, Kurata F, Sugita A, Tachibana W, Nishiyama A, Fukuyama A, Wada K, Yamaguchi M, Sugama J (2021) Effects of skin moisturizer on the skin barrier dysfunction model: an evaluation of the heel via tape-stripping in healthy, young adults. J of Tissue viability, 30 (3). 2021. <https://doi.org/10.1016/j.jtv.2021.02.002>
- Okamoto S, Ogai K, Mukai K, Sugama J (2021) Association of skin microbiome with the onset and recurrence of pressure injury in bedridden elderly people. Microorganisms, 9(8), 1603. doi: 10.3390/microorganisms9081603.
- Koyanagi H, Kitamura, Nakagami G, Kashiwabara K, Sanada H, Sugama J (2021) Local wound management factors related to biofilm reduction in the pressure ulcer: A prospective observational study. Japan Journal of Nursing Science. 18(2):2021. <https://doi.org/10.1111/jjns.12394>
- 小柳礼恵, 奥田裕美 (2021) 小児専門病院における医療関連機器圧迫創傷の原因医療機器別の発生部位、リスク要因の分析, 日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌. In press.

### <学会発表>

- 須釜淳子. 看護ケアのための高齢者の便秘時の大腸便貯留アセスメントに関する診療ガイドライン. 第 41 回日本看護科学学会学術集会 (シンポジウム, 2021 年 12 月 5 日, オンライン)
- Misako Dai, Gojiro Nakagami, Aya Sato, Hiroe Koyanagi, Masushi Kohta, Hiromi Sanada, Junko Sugama. Association between access to specialists and history of cellulitis among lymphedema patients in Japan. 第 41 回日本看護科学学会学術集会 (English session, 2021 年 12 月 4 日, オンライン)
- 小倉康平, 高夏樹, 古屋 紘花, 大貝和裕, 岡本成史, 須釜淳子. 褥瘡瘢痕部に定着するブドウ球菌属細菌. 第 51 回日本創傷治癒学会学術集会 (研究奨励賞講演, 2021 年 11 月 26 日, オンライン)
- 大貝和裕, 青柳さやか, 若命秀明, 須釜淳子, 岡本 成史. 皮膚細菌叢解析における小型次世代シーケンサー MinION の評価. 第 51 回日本創傷治癒学会学術集会 (一般演題口演, 2021 年 11 月 26 日, オンライン)
- Misako Dai, Junko Sugama. Ultrasonography for prediction of cellulitis in lymphoedema. 10th International Lymphoedema Framework Conference (workshop, 2021 年 11 月 18 日, オンライン)
- 土屋紗由美、上田映美、臺美佐子、小林範子、仲上豪二郎、仲上豪二郎、須釜淳子、

- 真田弘美. 生殖器リンパ浮腫管理の教育ニーズに関する実態調査, 第10回国際リンパ浮腫フレームワーク・ジャパン研究協議会学術集会 (一般演題口演, 2021年9月4日, オンライン)
- 上田映美, 須釜淳子. 長期療養施設における高齢者の下腿慢性浮腫に対する圧迫療法が Well-being に与える効果, 第10回国際リンパ浮腫フレームワーク・ジャパン研究協議会学術集会 (一般演題口演, 2021年9月4日, オンライン)
- 今方裕子, 須釜淳子, 大桑麻由美, 萱原正都, 宗本将義, 坂倉喜代美, 山森ゆみ, 嶽加奈子, 江戸稚香子, 大江真琴. ドセタキセルによる下腿浮腫が出現したステージIV乳がん患者の浮腫症状の出現特徴と QOL に関する事例報告, 第10回国際リンパ浮腫フレームワーク・ジャパン研究協議会学術集会 (一般演題口演, 2021年9月4日, オンライン)
- 大野道幸, 直美, 駒形和典, 小柳礼恵, 森浩美. 口腔ケア方法別による口腔内細菌数の増減率の比較. 第31回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 (2021年11月12-13日, 香川県高松市)
- 臺美佐子, 小川佳宏, 高西裕子, 須釜淳子. リンパ浮腫患者のセルフケア支援としての夏用弾性ストッキング開発成果と実装に向けた今後の展望. 第5回リンパ浮腫治療学会学術集会 (シンポジウム, 2021年9月26-27日, オンライン)
- 小口澤晶子, 小柳礼恵. 手術関連針刺し・切創防止のために O91-4 何が重要か?: 当院 49,872 件の手術データ分析. 第36回日本環境感染学会総会・学術集会 (2021年9月19-20日, オンライン)
- Junko Sugama. Keynote Lecture; New Pressure ulcer assessment using bioengineering nursing technologies. The 4th INHSP Conference (2021年9月15日, オンライン)
- 須釜淳子. 高齢者の褥瘡再発予防一局所ケの外力低減ケア. 第23回日本褥瘡学会学術集会 (シンポジウム, 2021年9月10-11日, オンライン)
- 光田益士. 褥瘡対策における「外力」と「基礎」. 第23回日本褥瘡学会学術集会 (シンポジウム, 2021年9月10-11日, オンライン)
- 光田益士. ケアマネジャーによる褥瘡リスクアセスメント ～床ずれ危険度チェック表の信頼性と妥当性～. 第23回日本褥瘡学会学術集会 (スポンサードシンポジウム, 2021年9月10-11日, オンライン)
- 光田益士, 大浦 武彦, 塚田 邦夫, 中村 義徳, 助川 未枝保. 床ずれ危険度チェック表の評定者間信頼性に関する多施設共同研究. 第23回日本褥瘡学会学術集会 (2021年9月10-11日, オンライン)
- 光田益士, 大浦 武彦, 岡田 克之, 中村 義徳, 熊谷 英子. 「床ずれ危険度チェック表」と既存の褥瘡リスクアセスメントスケールとの相関性に関する多施設共同研究. 第23回日本褥瘡学会学術集会 (2021年9月10-11日, オンライン)
- 須釜淳子, 川端 崇広. 側臥位におけるマット内圧と体圧分散機能との関連性. 第23回日本褥瘡学会学術集会 (研究助成, 2021年9月10日, オンライン)
- 臺美佐子, 仲上豪二郎, 小林範子, 佐藤文, 小柳礼恵, 光田益士, 真田弘美, Christine

- Moffatt, 須釜淳子. リンパ浮腫評価の標準化に向けたアウトカム調査：ILF-COM. 第10回国際リンパ浮腫フレームワーク・ジャパン研究協議会学術集会（一般演題口演，2021年9月4日，オンライン）
- 丸山菜, 小柳礼恵, 武村雪絵. 看護職の離職が組織に及ぼす影響に関する文献検討. 第25回日本看護管理学会学術集会（一般演題口演，2021年8月28-29日，神奈川県横浜市<ハイブリット>）
- 寿々木剛志, 木田亮平, 武村雪絵, 市川奈央子, 國江慶子, 小柳礼恵. 短時間勤務看護職員が認識するダイバーシティ風土と心理的エンパワメントの関連：仕事に関するコミュニケーションの媒介効果. 第25回日本看護管理学会学術集会（一般演題口演，2021年8月28-29日，神奈川県横浜市<ハイブリット>）
- 小口紗穂, 武村雪絵, 市川奈央子, 木田亮平, 小柳礼恵. 部署のチームワーク行動・メンバー構成と看護の質・職務満足・組織コミットメントとの関連：縦断調査の二次解析. 第25回日本看護管理学会学術集会（一般演題口演，2021年8月28-29日，神奈川県横浜市<ハイブリット>）
- 井上真帆, 武村雪絵, 木田亮平, 市川奈央子, 小柳礼恵, 池崎 澄江, 池田 真理. Covid-19に対応した宿泊療養施設での看護業務および求められる人材—半構造化面接を用いた質的研究—. 第25回日本看護管理学会学術集会（一般演題示説，2021年8月28-29日，神奈川県横浜市<ハイブリット>）
- 市川奈央子, 武村雪絵, 井上真帆, 木田亮平, 小柳礼恵, 池崎澄江, 池田真理. COVID-19受入れ施設およびクラスター発生施設での看護職への支援の実際と課題—半構造化面接を用いた質的研究—. 第25回日本看護管理学会学術集会（一般演題示説，2021年8月28-29日，神奈川県横浜市<ハイブリット>）
- 武村雪絵, 市川奈央子, 井上真帆, 木田亮平, 小柳礼恵, 池崎澄江, 池田真理. COVID-19受入れ施設およびクラスター発生施設での看護職員確保と配置—半構造化面接を用いた質的研究—. 第25回日本看護管理学会学術集会（一般演題示説，2021年8月28-29日，神奈川県横浜市<ハイブリット>）
- 池崎澄江, 武村雪絵, 井上真帆, 木田亮平, 市川奈央子, 小柳礼恵, 池田真理. COVID-19クラスターが発生した福祉施設における対応と派遣された看護職の実践—半構造化面接を用いた質的研究—. 第25回日本看護管理学会学術集会（一般演題示説，2021年8月28-29日，神奈川県横浜市<ハイブリット>）
- 光田益士. 床ずれ危険度チェック表の信頼性と妥当性. 第7回日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会総会・学術集会（スポンサードセミナー，2021年7月11日，オンライン）
- 岡田克之, 塚田邦夫, 木下幹雄, 戸原玄, 熊谷英子, 大内淑子, 助川未枝保, 播磨孝司, 真井睦子, 亀田悠樹, 光田益士. 「床ずれ危険度チェック表」を用いた在宅褥瘡予防プログラムの開発（第1報）. 第7回日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会総会・学術集会（2021年7月11日，オンライン）
- 臺美佐子, 小柳礼恵, 光田益士, 須釜淳子. 下肢リンパ浮腫患者の蜂窩織炎既往歴と

真皮低エコー所見との関連性. 第53回藤田医科大学医学会 (2021年10月7日, 藤田医科大学) .

須釜淳子, 臺美佐子, 小柳礼恵, 光田益士. Well-being 向上に向けた Fujita 式アドバンストスキンケアモデルの確立. 第7回学内ニーズ・シーズ発表交流会 (2021年6月15日, 藤田医科大学)

Misako Dai, Yoshihiro Ogawa, Takeo Minematsu, Hiromi Sanada, Junko Sugama. Expectations from using hand-held visualization tool for preventing the recurrence of cellulitis in lymphoedema management. The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (Symposium session 2, 2021年7月3-5日, オンライン)

Imran, Kazuhiro Ogai, Supriadi, Haryanto, Makoto Oe, Gojiro Nakagami, Suriadi Jais, Toshio Nakatani, Mayumi Okuwa, Hiromi Sanada, Junko Sugama. Complementary therapy of diabetic foot ulcer with date and honey mixture: A case series. The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (Oral presentation, 2021年7月3-5日, オンライン)

Kazuhiro Ogai, Miku Aoki, Tamae Urai, Satoshi Nagase, Shigefumi Okamoto, Junko Sugama. Two-year stability of dysbiotic condition at sacral skin of bedridden older patients. The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (Oral presentation, 2021年7月3-5日, オンライン)

Sachiko Kinoshita, Rie Ishikawa, Mariko Seishima, Chizuko Konya, Yuko Matsui, Hiromi Sanada, Junko Sugama. Morphological characteristics of pressure ulcers due to elastic compression stockings and occurrence factors. The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (Oral presentation, 2021年7月3-5日, オンライン)

Takahiro Kawabata, Makoto Oe, Junko Sugama. Relationship between inner air cell pressure and interface pressure distribution. The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (Oral presentation, 2021年7月3-5日, オンライン)

Tomoe Yokono, Junko Sugama, Hiromi Sanada. Competencies for the successful management of pressure ulcers in home-bound patients by hospital-affiliated WOCNs. The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (Oral presentation, 2021年7月3-5日, オンライン)

Dhiya Khalilah Taufan, Saldy Yusuf, Titi Iswanti Afelya, Junko Sugama, Makoto Oe. Identifying the knowledge of diabetes mellitus patients related to the use of footwear. The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (Oral presentation, 2021年7月3-5日, オンライン)

Hiroe Koyanagi, Aya Kitamura, Gojiro Nakagami, Hiromi Sanada, Junko Sugama. Prospective study of local wound management of pressure ulcers in critical colonization states:effect of antibacterial agent. The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (Oral presentation, 2021年7月3-5日, オンライン)

Haryanto, Supriadi, Imran, Suriadi, Makoto Oe, Kazuhiro Ogai, Mayumi Okuwa, Junko

- Sugama. Correlation between bacteria counts with changes in wound area on diabetic foot ulcers in Indonesia: A prospective study. The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (Oral presentation, 2021年7月3-5日, オンライン)
- Sayumi Tsuchiya, Takuto Sawazaki, Shuji Osawa, Makoto Fujiu, Mayumi Okuwa, Junko Sugama. Influences of lower limb edema on daily lives of older adults in an elderly day care center. The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (Oral presentation, 2021年7月3-5日, オンライン)
- Supriadi Syafie Saad, Imran Mili, Sayumi Tsuchiya, Fumiya Oohasi, Makoto Oe, Mayumi Okuwa, Junko Sugama. A method to evaluate the coefficient of friction on prophylactic dressing in laboratory. The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (Oral presentation, 2021年7月3-5日, オンライン)
- Yuiko Suzuki, Yukari Nakajima, Toshio Nakatani, Mayumi Okuwa, Junko Sugama. Identification of the normal hindlimb lymphatic systems in rats. The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (Oral presentation, 2021年7月3-5日, オンライン)
- Qi Qin, Makoto Oe, Misako Dai, Gojiro Nakagami, Hiromi Sanada. An exploration of plantar thermal pattern changes in the home environment: results from a preliminary study. The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (Oral presentation, 2021年7月3-5日, オンライン)
- Misako Dai, Takeo Minematsu, Shuji Yamashita, Mutsumi Okazaki, Hiromi Sanada. Effectiveness of an educational intervention using real-time images to improve self-care behaviors in patients with lymphedema. The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (Oral presentation, 2021年7月3-5日, オンライン)
- Yuka Miura, Gojiro Nakagami, Mikako Yoshida, Shiho Higashimura, Yuko Mugita, Tomohiro Yoshikawa, Ryoko Murayama, Makoto Oe, Nao Tamai, Masaru Matsumoto, Misako Dai, Aya Kitamura, Toshiaki Takahashi, Mari Abe, Hiromi Sanada. Extraction of outcome candidates to evaluate the effects of nurses who have completed advanced nursing training. The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (Oral presentation, 2021年7月3-5日, オンライン)
- Yuko Matsui, Ryoko Murayama, Mari Abe, Chizuko Konya, Sachiko Kinoshita, Junko Sugama, Hiromi Sanada. A case report of extravasation of an infusate from a peripheral vein visualized by thermography. The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (Poster presentation, 2021年7月3-5日, オンライン)
- Ayumi Kumagai, Junko Sugama. Investigation of the effects of mattress shape and hardness on mattress deformation in prone position using magnetic resonance imaging. The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (Poster presentation, 2021年7月3-5日, オンライン)
- Andi Hijratul Aswad, Haryanto, Imran, Kazuhiro Ogai, Makoto Oe, Mayumi Okuwa, Suriadi

- Suriadi, Junko Sugama. An investigation into characteristics of and factors related to red line occurrence on diabetic foot ulcers. The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (Poster presentation, 2021年7月3-5日, オンライン)
- Yuko Imakata, Junko Sugama, Mayumi Okuwa, Makoto Oe, Masato Kayahara, Masayoshi Munemoto, Kiyomi Sakakura, Yumi Yamamori, Kanako Dake, Chikako Edo. Clinical features of lower limb edema in breast cancer patients receiving docetaxel: A retrospective observational study. The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (Poster presentation, 2021年7月3-5日, オンライン)
- Yumi Nishimoto, Kenji Araishi, Maari Komachi, Yuko Ota, Yumiko Tatamiya, Harumi Nakada, Chikako Yuno, Mieko Yamasaku, Hideyuki Katsura, Junko Sugama. Prospective study of Candidiasis and its risk factors in patients with incontinence using diaper. The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (Poster presentation, 2021年7月3-5日, オンライン)
- Masushi Kohta. Surgical scar satisfaction of Japanese residents: A cross-sectional study. The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (Poster presentation, 2021年7月3-5日, オンライン)
- 須釜淳子, 岡部美保. 新たな体圧分散コンセプト: スモールチェンジ. 第30回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会・The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (ワークショップ7, 2021年7月3-5日, オンライン)
- 土田敏恵, 飯坂真司, 田中子, 小柳礼恵, 酒井透江, 佐藤文, 真田弘美, 須釜淳子, 間宮直子, 宮前奈央, 渡辺光子, 渡邊光子. 創傷・オストミー・失禁(WOC)領域における看護専門外来の現状と将来展望. 第30回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会・The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (JWOCM 理事会企画シンポジウム1, 2021年7月3-5日, オンライン)
- 沖田翔平, 大貝和裕, 大橋史弥, 大桑麻由美, 須釜淳子. 褥瘡治癒部における生理機能と細菌叢の多様性における経時的変化. 第30回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会・The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (一般演題口演, 2021年7月3-5日, オンライン)
- 土屋紗由美, 大江真琴, Suriadi, 真田弘美, 須釜淳子. 糖尿病足潰瘍治癒過程モニタリングスケール(DMIST)の項目と治癒との関連. 第30回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会・The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (一般演題口演, 2021年7月3-5日, オンライン)
- 市川佳映, 須釜淳子. 女性地域在住者を対象とした保湿剤による皮膚の変化. 第30回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会・The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (一般演題口演, 2021年7月3-5日, オンライン)
- 大橋史弥, 須釜淳子. 下肢廃用性浮腫を有する高齢者への効果的な管理方法に関する文献検討. 第30回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会・The 9th Asia Pacific

Enterostomal Therapy Nurse Association Conference（一般演題口演，2021年7月3-5日，オンライン）

加藤頼子，藤井隆夫，尾田友香，平田善彦，平大輔，峰松健夫，臺美佐子，仲上豪二朗，國光真生，真田弘美．褥瘡患者の創部細菌叢と予後との関連の予備的検討：次世代シーケンサーによるメタ 16S 解析．第 30 回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会・The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference（一般演題口演，2021年7月3-5日，オンライン）

河崎明子，林千恵子，佐々木早苗，宇野光子，小柳礼恵．当院における脊椎疾患患者の排尿自立指導に関する実態調査．第 30 回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会・The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference（一般演題口演，2021年7月3-5日，オンライン）

松本鮎美，根本秀美，光田益土．看護師自身の保湿ケアと患者への保湿ケアの関連性．第 30 回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会・The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference（一般演題口演，2021年7月3-5日，オンライン）

松本鮎実，根本秀美，光田益土．病院での保湿ケアで使用する保湿剤の現状．第 30 回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会・The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference

須釜淳子、大桑麻由美．臀部モデルを用いた反応型体圧分散寝具の評価，第 30 回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会 30:343,2021（2021年7月3-5日，オンライン）

矢澤博美、小柳礼恵．精神疾患合併褥婦の授乳指導の検討．第 17 回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会（2021年10月23日-24日，オンライン）

<書籍など>

武村 雪絵・井上 真帆・市川 奈央子・木田 亮平・小柳 礼恵・池崎 澄江・池田 真理．新型コロナウイルス感染症に対応する看護職員の確保及び最適なマネジメント検討に向けた実態調査研究，日本看護協会機関誌 看護 2021年11月号．

日本看護科学学会監修，看護ケア開発・標準化委員会編集：看護ケアのための摂食嚥下時の誤嚥・咽頭残留アセスメントに関する診療ガイドライン，南江堂，2021（追加情報：看護ケア開発・標準化委員会委員長 須釜 淳子，事務局 臺 美佐子）

須釜 淳子．褥瘡予防：褥瘡 UPDATE エキスパートのための最新情報と栄養療法．Part 2 褥瘡予測・予防・治療：ベーシック編最新の体圧分散コンセプト．臨床栄養，臨時増刊．138(6)．2021

臺 美佐子，峰松 健夫．褥瘡 UPDATE エキスパートのための最新情報と栄養療法．Part3 褥瘡予測・予防・治療：アドバンス編⑩車椅子アスリートの褥瘡管理．臨床栄養，臨時増刊．138(6):884-889.2021

須釜 淳子．ケアに役立つ DESIGN-R®2020 改定のポイント．DESIGN-R 2020 を活用した褥瘡ケア．看護技術．67(4):20-25.2021

臺 美佐子, 玉井奈緒. 車いすアスリートに発生した DTI 疑いのアセスメントとケア.

DESIGN-R 2020 を活用した褥瘡ケア. 看護技術. 67(4):37-42.2021

小柳礼恵. クリティカルコロナイゼーション疑いの褥瘡のアセスメントとケア①.

DESIGN-R 2020 を活用した褥瘡ケア. 看護技術. 67(4):49-52.2021

須釜淳子. 看護学研究の社会実装をめざして インプリメンテーション研究とデータサイエンスへの期待、論文を通して学ぶ看護学におけるインプリメンテーション研究, 看護研究 54 (6) : 468-477, 2021

<講演>

須釜淳子. 論文をとおして学ぶ看護学におけるインプリメンテーション研究. 看護学研究の社会実装：インプリメンテーション研究とデータサイエンスの潮流. 第 17 回 JANS セミナー (2021 年 3 月 22 日-5 月 31 日, Web<オンデマンド配信>).

光田益土. インターネット調査結果でわかった、傷あとケアの現状と課題. アルケア (株) 協賛セミナー「患者様がよろこぶキレイな傷あとを目指して—縫合の実際と術後のケアを学ぶ」(2021 年 7 月 29 日-8 月 18 日, オンデマンド配信)

小柳礼恵. スキンケア講座: 予防的スキンケアのポイントや洗浄・保湿・保護について (2021 年 12 月 持田ヘルスケア株式会社スキンケア講座 Web 掲載)

<受賞>

優秀論文賞 2021 : Misako Dai, Miho Shogenji, Kiyoko Matsui, Keiko Kimori, Aya Sato, Hiroko Maeba, Mayumi Okuwa, Chizuko Konya, Junko Sugama, Hiromi Sanada. Validity of pocket ultrasound device to measure thickness of subcutaneous tissue for improving upper limb lymphoedema assessment. Lymphoedema Research and Practice, 6:10-20, 2018

優秀演題賞 : 沖田 翔平, 大貝 和裕, 大橋 史弥, 大桑 麻由美, 須釜 淳子. 褥瘡治癒部における生理機能と細菌叢の多様性における経時的変化, 一般演題口演, 第30回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会・The 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association Conference (2021年7月3-5日, オンライン)